



特集

市民の力、文化の力 皆さんに支えられた20年

全国子供歌舞伎フェスティバルin小松

市民の提案や意見を基に、お旅まつりの「曳山子供歌舞伎」と歌舞伎勸進帳の舞台「安宅の関」を生かして全国に「歌舞伎のまち小松」を発信しようと、平成11年からスタートした「全国子供歌舞伎フェスティバルin小松」。これまで175人の子供役者が「歌舞伎十八番の内 勸進帳」に出演し、21に及ぶ全国の子供歌舞伎団体が優れた演技を披露してきました。

先人たちに感謝 ～受け継がれる文化～

加賀前田家三代利常公が産業を奨励したことで町人たちに富をもたらし、茶道、華道、俳諧などの文化が根付いていきました。特にお旅まつりの曳山子供歌舞伎をはじめ、能や浄瑠璃などの伝統芸能は、小松の豊かな文化の象徴として受け継がれてきました。地域の伝統と市民の力によって守られ、育まれてきた文化の力が人々を豊かにし、現代につながる力となったのです。

全国子供歌舞伎フェスティバルin小松は今年で20年を迎えます。これは小松というまちが、先人たちからの想いを大切に受け止め、そして引き継いでいく気質があるからではないでしょうか。

20年を迎えるにあたり、十二代目市川團十郎丈からのご恩も忘れてはいけません。「歌舞伎十八番の内 勸進帳」が上演できるのは、氏の小松に対する並々ならぬ思い入れがあったからこそです。

文化と様々な人の力に感謝しながら、全国子供歌舞伎フェスティバルin小松は今年、新たな一歩を踏み出していきます。



全国子供歌舞伎フェスティバルin小松の20年

第1回 平成11年

公会堂にて第1回全国子供歌舞伎フェスティバルin小松を開催。顧問に十二代目市川團十郎氏が就任し、以降、指導をいただく。

第3回 平成13年

全国子供歌舞伎フェスティバルin小松が「第5回ふるさとイベント大賞」文化・交流部門賞を受賞。

第6回 平成16年

こまつ芸術劇場うらががオープン。会場を公会堂からうらがへ移す。

第9回 平成19年

「勸進帳」長唄・囃子方連中が歌舞伎座で開催の「俳優祭」に出演。

第10回 平成20年

第10回記念公演。小松明峰高校による朗読劇「富樫兄弟後日の談義」を上演。全国子供歌舞伎フェスティバルin小松の功労者へ感謝状を贈呈。

第12回 平成22年

曳山子供歌舞伎(寺町・八日市町)が初出演。伝統芸能の人材育成のため「こまつ歌舞伎未来塾」開塾。

第14回 平成24年

開催日を5月のゴールデンウィーク期間中に変更し、お旅まつり開催日までを「歌舞伎のまち小松春の巻」として発信。

第15回 平成25年

歌舞伎のまち小松の新たな拠点施設「こまつ曳山交流館みよつこ」がオープン。

第17回 平成27年

「第66回全国植樹祭いしかわ2015」に弁慶、富樫、義経の3役が出演、口上を披露。

第20回 平成30年

子供歌舞伎の原点 江戸時代から続く曳山子供歌舞伎3団体を招いて開催。



古典芸能解説者
葛西 聖司さん

祝！フェスティバル20年 その意義

初回から欠かさず舞台で案内役を務めている私は、その変遷を見ながら、フェスティバルには三つの意義があると感じています。一つは「全国」の団体を招聘して「お旅まつり」を底力にした歌舞伎のまちを体験してもらい、全国発信していること。二つは「安宅」という歴史遺産を持つ地ならではの「勸進帳」を役者、長唄、囃子方をオール小松で上演し続けてきたこと。三つは「こども」を主役にし、そのとてつもない輝きで、未来の小松へ繋いだこと。どれも多くの難関を乗り越え今日を迎えました。それゆえにめでたく、今後、更なる発展を期待します。



振付、長唄・囃子方指導
寺島 浩さん

子供たちが努力し、工夫している姿に感心します

子供歌舞伎とはいえ「美しく品のある舞台」「力強く本格的なせりふ」「迫力のある正しい演奏」を心掛けて指導しています。「勸進帳」は演技も演奏もとても難しいのですが、子供たちなりに内容を理解し工夫して演じています。その努力に感心します。これも中学古典教室32年、フェスティバル20年の上演の継続で、地元小松に歌舞伎「勸進帳」が根付いてきた証だと思っています。子供たちも皆大変仲良く、そして楽しそうに稽古に励んでいます。これからも子供たちと一緒に研鑽を積み重ね、より良い舞台を作っていければと思います。



長唄・囃子方顧問
高熊 美津江さん

子供たちの成長と上達を見守ってきました

小松市立高等学校(旧小松市立女子高等学校)で邦楽部の技能講師をしていた時に第1回のフェスティバルが始まり、それから長年、長唄・囃子方の指導者として携ってきました。当時から一貫して「礼に始まり礼に終わる」をお稽古の基本としています。礼儀作法がしっかりしていると、不思議と演奏者の心が一つになり、統一感が生まれるのです。教えていて楽しいのが子供たちの成長と上達を見守れること。また、ひたむきに練習する姿から私も色々と教わることがありました。子供たちの素直さと辛抱強さは昔からずっと変わりません。



結いの会代表
神田 昌子さん

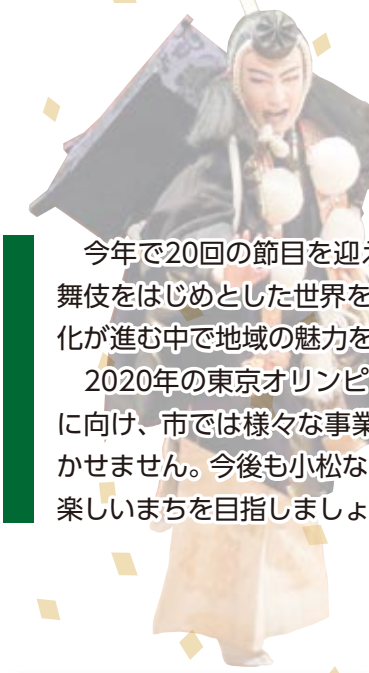
フェスティバルの着付けは、縁の下力持ち

着物を通してみんなを楽しませたい、笑顔にしたいという思いから出演者の衣装の着付けに参加しました。私たち着付けのボランティアは舞台の成功を影で支える存在です。当初は7人ほどで始めましたが、現在は13人前後で行っています。着付けの要は、タオルなどで体形の補正を行うこと。そして1人に対して2人で行うため、着付ける側の阿吽の呼吸が必要です。20年間見ていて感じることは、日本の文化に携わる子供は大変礼儀正しいということ。毎年、全ての上演が終わった後、笑顔で「ありがとう」と言われると、やっていて良かったと思います。



全国子供歌舞伎
フェスティバルin小松 支えるヒト

「全国子供歌舞伎フェスティバルin小松」は様々な人に支えられてきました。ここでは長年、力を注いでくれている4人にお話を伺いました。



今年で20回の節目を迎える全国子供歌舞伎フェスティバルin小松。小松市には歌舞伎をはじめとした世界を魅了する和 문화が数多くあります。そしてそれらは、国際化が進む中で地域の魅力を発信する重要なアイテムになります。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2023年春の北陸新幹線小松開業に向け、市では様々な事業を計画しています。その成功には市民の皆さんの力が欠かせません。今後も小松ならではの歴史・文化を未来につなげ、「来て、観て、遊んで」楽しいまちを目指しましょう。



小松の和 문화の魅力 KOMATSU・JAPANを世界に発信

市では外国人旅行者向けサイト「KOMATSU・JAPAN」をリニューアルしました。そこでは市内の文化体験スポットや食、季節の情報などを掲載しています。
<http://www.explorekomatsu.com>



曳山子供歌舞伎 次の250年へ

250年の歴史を誇る曳山子供歌舞伎。次の250年に向け、今年のお旅まつりでは8年ぶりにJR小松駅前で曳山八基曳揃えを行います。またお旅まつりを題材としたNHKの石川発地域ドラマの制作が決定し、今秋、BSプレミアムでの全国放送が予定されています。



KOMATSU・JAPAN 体験エリアの整備

若手作家を育成し、九谷焼を体感、体験できる施設として来春「CERABO KUTANI」が若杉町にオープンします。そのほか、市内各地で歴史・文化・石文化などが体験できるエリアを充実させていきます。



体験から交流へ

市内施設、市民文化団体、4月開学の公立小松大学が連携し、世界の視線を引きつける小松独自の文化体験をつくっていきます。そして、それらを海外へ発信することで新たな交流を創出していきます。

特集に関するお問い合わせ 文化創造課 ☎24・8130

小松の和 문화で世界を魅了

第20回

全国子供歌舞伎 フェスティバル in小松

5月4日(金・祝)・5日(土・祝)
こまつ芸術劇場うらら大ホール

恒例の歌舞伎茶屋、子供役者とのふれあいコーナー、物販交流コーナーのほか、特別企画が盛りだくさん！

20年の感謝を！ 子供役者OBからのメッセージ展示

過去の三役(弁慶・富樫・義経)を演じた子供役者OBからのメッセージなどを展示します。

過去の出演団体からの 応援メッセージ展示

これまでフェスティバルに出演した全国の子供歌舞伎団体から届いた応援メッセージを展示します。

こまつ歌舞伎弁当 3月5日(月) から予約受付開始

市内飲食店による特製のお弁当で、7種類から選ぶことができます。事前に予約が必要です。詳しくは市ホームページをご覧ください。

初の4団体上演



- 富山県砺波市 出町子供歌舞伎曳山 東曳山会 つりおんな
「釣女」
- 滋賀県米原市 米原曳山祭保存会 松翁山組
かなでほんちゅうしんぐら しちだんめ ぎおんいちきぎや ば
「仮名手本忠臣蔵 七段目 祇園一力茶屋の場」
- 滋賀県長浜市 長浜曳山まつり 本町組 春日山
ふたおもてみずにつすらみのおもかげ ほうかい ぼう やばせ きはん
「双面湖国月暎魄 法界坊矢走帰帆の場」
- 小松市 子供歌舞伎「勸進帳」実行委員会
かぶ きじゅうはちばん うち かんじんちやう
「歌舞伎十八番の内 勸進帳」

※写真は過去の上演風景です。

【今年の三役のコメント】

- 20回の記念となる年の勸進帳なので緊張しますが、みんなの印象に残る迫力ある弁慶を演じてみたいです。(武蔵坊弁慶役／光安晴香さん〈中央〉)
- お稽古は大変ですが、みんなで演じるのは楽しいです。これからも団結して、お客様の心に残る勸進帳にしたいです。(富樫左衛門役／北川詩乃さん〈左〉)
- 稽古では礼儀作法も大事ということを学びました。感動を与えられるような舞台をみんなと作ってみたいです。(源義経役／中川みはるさん〈右〉)



チケット販売情報

料金	栈敷席(1マス2席)	7,000円(当日8,000円)
	SS席(1階)	2,500円(当日3,000円)
	S席(1階)	2,000円(当日2,500円)
	自由席(2階・一般)	1,500円(当日2,000円)
	自由席(2階・高校生以下)	500円(当日 500円)
	※当日券は残席がある場合のみ取り扱いいます。3歳以上はチケットが必要です。3歳未満は事前予約、保護者同伴の上、親子席での観覧となります(うらら窓口で受け付け)。	

取り扱い
電話先行予約 3月4日(日) 10時～18時
☎20・5501 こまつ芸術劇場うらら
※先行予約では座席を選ぶことはできません
窓口販売開始 3月5日(月)～
こまつ芸術劇場うらら ☎20・5501(水曜日休館)
チケットぴあ ☎0570・02・9999 Pコード 483-763
(サークルK・サンクス、セブンイレブン) 取り扱い